令和７年１１月７日
相模原市発表資料

城山地区小・中学校の学習環境のあり方について

近年の少子化の進行に伴う児童数の減少により、クラス替えができない１学年１学級の学年が複数校で発生している城山地区の小・中学校の学習環境のあり方について、令和７年教育委員会１１月定例会において、次のとおり対応方針を決定しましたので、お知らせします。

１　対応方針

過小規模校を解消し、多様な考え方に触れることができる学習環境を早期に整備するため、令和９年４月を目途に、湘南小学校を広田小学校に再編する。

２　今後の進め方

再編に当たり、通学距離が長くなることや、学習環境の変化による児童への影響などの諸課題について、スクールバスの運行の調整など保護者や地域の皆様からの意見を伺いながら、対応してまいります。

３　これまでの経過

保護者と地域の代表者で組織する「城山地区小・中学校の学習環境のあり方検討協議会」（以下「検討協議会」という。）を１５回開催するとともに、保護者への意見聴取や説明会の他、湘南小学校の通学区域にお住いの地域の方や、未就学児の保護者へのアンケートを実施し、令和７年１０月８日に検討協議会から教育委員会に検討結果の報告がありました。

報告の内容は、「相模原市立小中学校の望ましい学校規模のあり方に関する基本方針」に合致していることから、報告に基づいた対応方針を決定しました。

お問合せ先
学務課
電話　042-769-9263（直通）